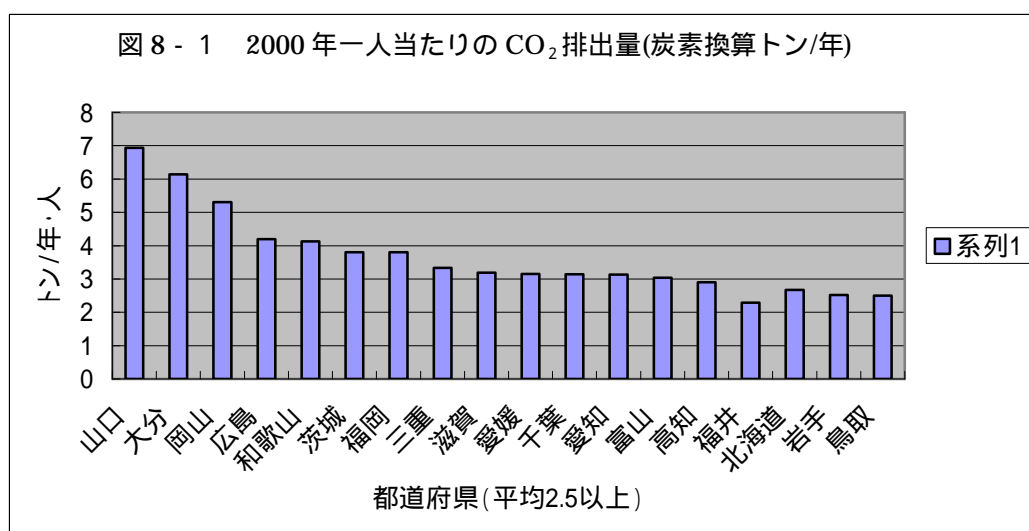
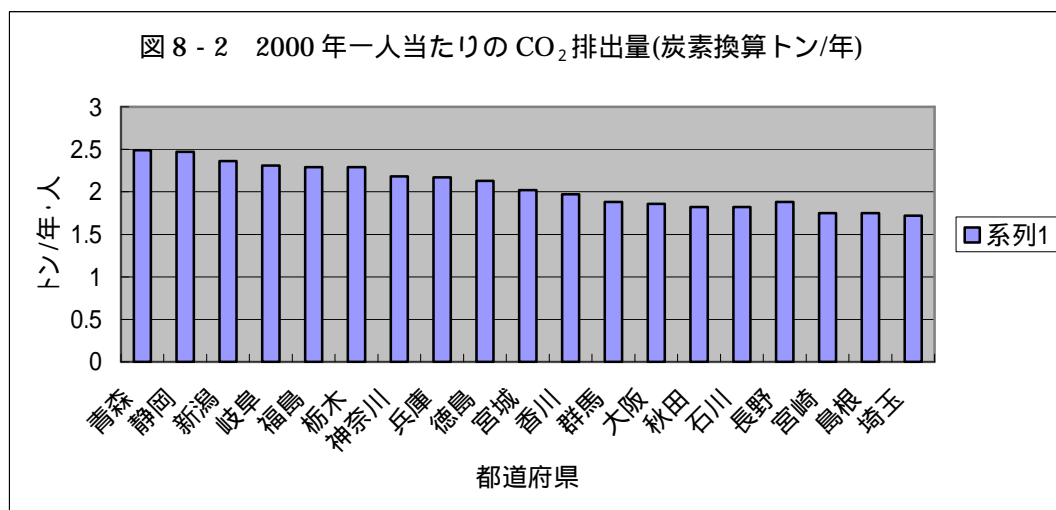


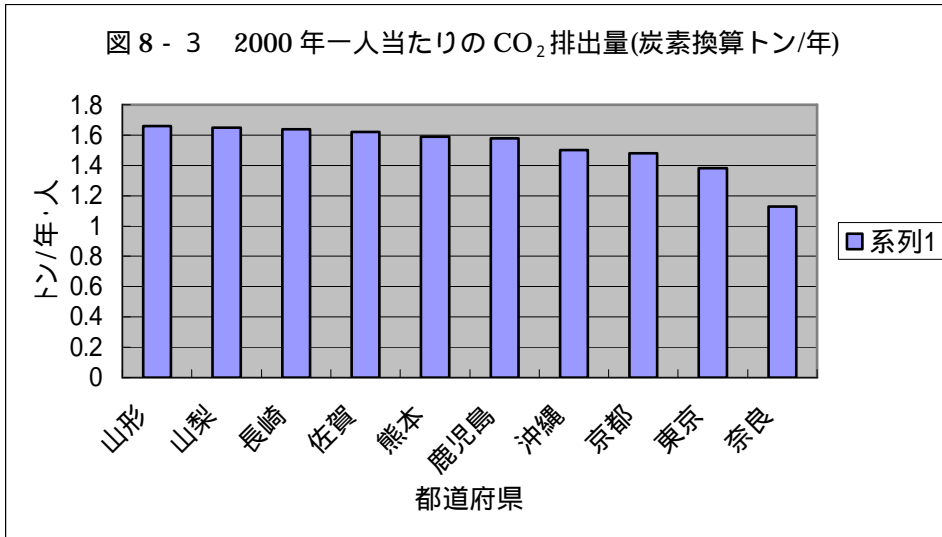
5章 全国の環境先進県と三重県

都道府県別の二酸化炭素排出量に関するデータは残念ながら2000年度のものしか探し得なかった。年間一人当たりの排出量を多い順に示した図8より、三重県は全国で8番目にCO₂排出量の多い県であることが分かる。図3は三つに分割して示してあるが、東京都が全国最下位から二番目、大阪も下から17番目であることから分かるように、一人当たりのCO₂排出量は人口が多い都道府県で相対的に少なくなる傾向がある。他方、人口が少なく産業が盛んな都道府県では相対的に多くなる。すなわち、三重県は相対的に人口の割には産業が盛んな県であることが、全国8位であることを裏付けていると考えられる。



(<http://www.php.co.jp/fun/the21/detail.php?page=99-2-1.html>)





本当に環境先進県といえるか否かを占うには、民生部門で比較するのが妥当であろう。

図 9 は 2000 年の「市区町村別 民生部門 一人あたり CO₂ 排出量」を図示したものである。真っ赤に塗りつぶされた北陸地方に比して、三重県は赤と橙、黄色のまだら模様になっている。北陸や北海道、東北地方に比べると二酸化炭素排出量は多くないものの、関東や愛知県、近畿、中国、四国、九州と比べると相対的に多いことが分かる。よって、環境先進県とは言えなさそうである。



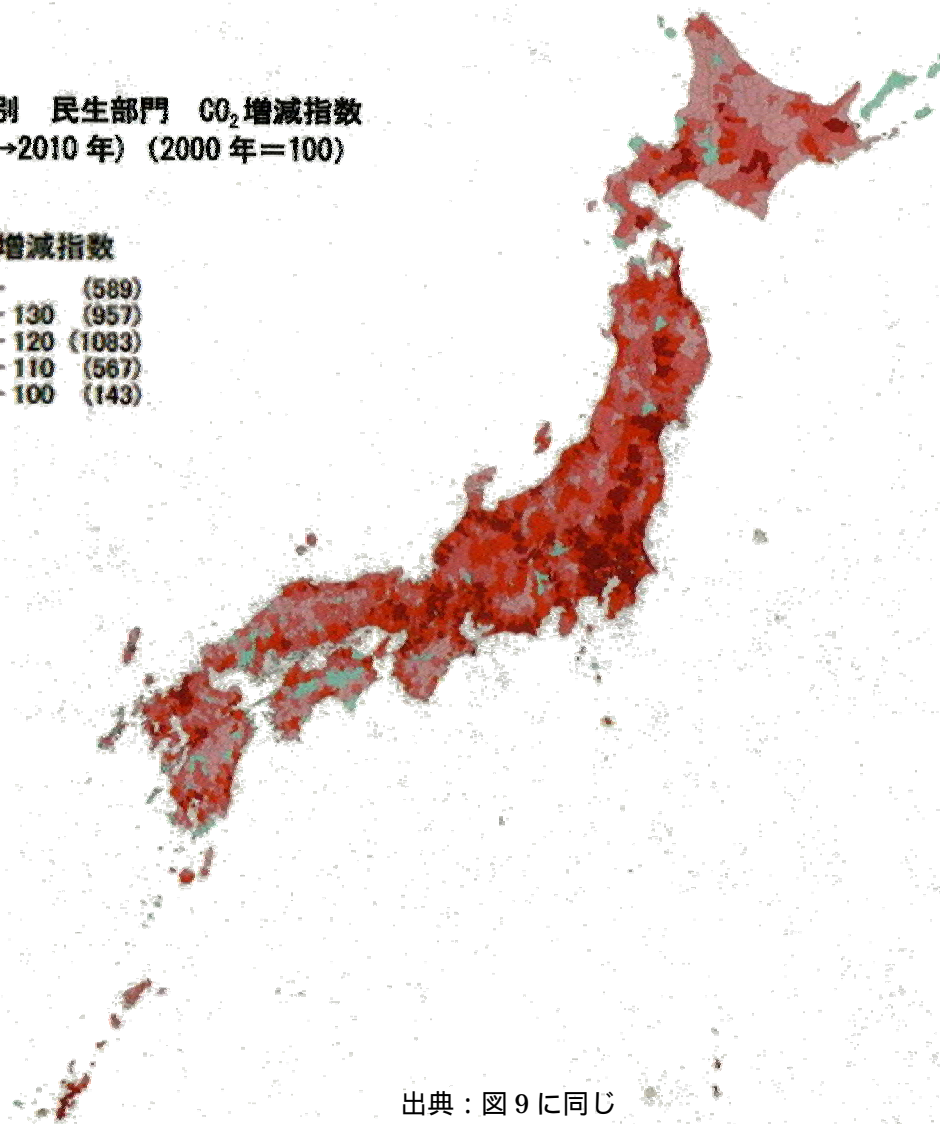
(環境自治体会議環境政策研究所 HP:http://www.colgei.org/DL/happyo050309/happyo_0503_v3.pdf)

図 10

全国市区町村別 民生部門 CO₂増減指数
(2000年→2010年) (2000年=100)

CO₂増減指数

130 -	(589)
120 - 130	(957)
110 - 120	(1083)
100 - 110	(567)
0 - 100	(143)



出典：図9に同じ

図10は、1990年から2000年までに、「市区町村別 民生部門 一人あたりCO₂排出量」がどの程度増えたかを図示したものである。関東と愛知、滋賀県などで著しい増加が見られるが、三重県も北勢では関東並みに高く、中南部ではそれほどでもないことが分かる。しかしながら、中南部でも10%以上増加している。県全体では1990年比で2000年に12%増えたことが表1から計算できる。同じく表1から民生家庭部門では1990年比で2000年には25%、民生業務部門では43%増加した。

なお、表1から2006年のCO₂排出量が1990年比で最も増えたのは民生業務部門の166%であり、次が民生家庭部門の127%であった。よって、三重県は県民意識として「低炭素社会形成」への認識はかなり低いと言えるだろう。